

清流

存在自体が教育である

先週末の土曜授業時に 大畑誠也先生 による教育講演会を行いました。第一高校や熊本商業等多くの県立学校での校長経験を基にした熱のこもったお話を伺うことができました。今回は、その内容の一部について触れさせていただきたいと思えます。

教育の原点は「真似」である モデリング
人づくりで一番大切なことは「言葉だけで語るのではなく自分がやってみせること」である
いい大人がいれば いい子どもが育つ
(親や教師の)存在自体が教育である
子どもは、見ている、聴いている 生き方、あり方を学んでいる

私は、昨年度の学校だより「子どもは親のやったとおりに育つ」と題した記事を二度書きました。一度目は、子どもからの贈り物を大切にしているお父さんの心優しい面が、そのまま、作者の優しい行動につながっていることが伝わる素敵な詩を紹介した内容でした。二度目は、子どもと一緒に買い物に行き、スーパーなどの駐車場に車をとめるとき、出入り口近くではなく、出入り口から少し離れた場所に駐車することをお勧めする内容でした。(過去の学校だよりはHPで読むことができます。上の記事は、昨年度版の9号と13号です)

このような私の思いとぴったりと重なる内容のお話で、大きくうなずきながら伺い、大きなパワーをいただきました。

また、基本的な生活習慣や食育に関する次の内容についても、改めて大切さを確認させていただくことができました。

生活3基本 ①早起き ②挨拶 ③朝食
初動 すべては初動から始まる
①早起き…早起きは基本的な生活習慣をつくるスタートライン
②挨拶…挨拶は心を開くスタートライン
③朝食…朝食は体内時計をリセットするスタートライン

分かっている、なかなか身につかない内容ですね。しかし、今回のお話で再確認できたことに大きな意味があると思えます。

と、講演の内容に触れたところで……

「あれっ！ なんで私のお父さんやお母さんは 教育講演会があっっているのに行かないのだろう？」
子どもは、見ている、聴いている 生き方、あり方を学んでいます！